



ぱんり

市政報告 ～万里の道も一歩から～

第49号（令和4年春号）

令和4年第1回定例会が終わりました

2月22日～3月24日の日程で、令和3年度補正予算、条例改正、令和4年度予算など48議案の審査と、代表質問、一般質問の他、請願審査がありました。

初日は、市長による令和4年度の施政方針が示されました。

市長の施政方針は・・・

冒頭に、市政運営における理念や目指す地域の将来像を語られ、その後当面の重点課題を示されました。理念は、「市民の幸福度の向上」で、SDGsの理念を根本に、誰一人取り残さないインクルーシブな社会の実現を目指すとされました。

将来像として、本市が阪神間のベッドタウンとして便利な場所でありながら、身近に自然を楽しむことができることに加え、東播磨地域の産業立地としてのニーズが高く、雇用創出の可能性など、市の特性を生かしていくとされました。

重点課題では、「JR加古川駅周辺への機能の集約化と市内の移動手段の改善」「身近な自然を生かした魅力づくり」「しごとづくり」「デジタル&グリーン」「誰一人取り残さない」「新型コロナ対策」を挙げられました。



請願審査は・・・

「生理用品を学校施設の女子トイレ個室に設置することを求める請願」でした。

コロナ禍で「生理の貧困」がクローズアップされ、本市では昨年、生理用品を公民館や学校の保健室等で配布、公民館分はすぐに無くなりましたが、学校の保健室に受取りに来る児童・

生徒はわずかでした。困っていても、恥ずかしくて言い出せないことが考えられます。

請願は、個室への設置を求めるものでしたが、学校ごとの事情に合わせ、個室にこだわらず、トイレ内の適切な場所への設置を求めて賛成しました。

条例審査は・・・

印鑑条例や手数料条例の一部改正では、オンライン申請分の手数料が最大半額になります。オンライン申請は現在、県下7市で実施されていますが、手数料の減額は加古川

市独自です。減額によりオンライン申請が増えることで、事務の簡素化・効率化が図られ、スマートシティ加古川を実感できる取り組みとなります。

新年度予算は・・・

会派で要望したものを中心に紹介します。コロナ禍が長期化し、引き続き経済対策が必要です。これまで3回実施してきた緊急経済対策市内店舗応援事業（ポイントが付与されるキャッシュレス決済）に6億円、子育て支援では、妊婦応援タクシーや不妊・不育治療費助成の継続、新たな取り組みとしてAI入所調整システムの導入や医療的ケア児訪問看護業務・保育支援事業補助が計上されました。

防災対策では、災害情報トリアージや情報の一元化を図る危機管理情報システムが構築されます。また、中心市街地の活性化策と田園まちづくり制度*1を見直し、子育て世帯や就農者を地区外からの移住者に広げられます。

*1市街化調整区域の少子化・過疎化が進んでいる地域で、まちづくり計画を作成して建築物を建てられる制度

加古川市ならではの取組として、河川敷の活用やカヌーイベントなど川を生かした施策がさらに充実、2年開催されなかった花火大会も実施に向けた検討が始まります。



4期目への思い・・・

一昨年からのコロナ禍が現在も続いています。生活様式の変化で、人と直接交流することが積極的にできない状況です。

そんな中で、この6月には市議会議員選挙が控えています。選挙活動にも変化が求められる

状況でありますので、ベストな方法を模索しています。

市政情報をお知らせしているこの広報紙と併せ、毎日のブログ、Facebook、Instagramで日々の活動を発信しています。また、身近な相談にも応え、施策に結び付けてきました。

これからも、皆さまに寄り添い、誰もが安心して暮らせるまちを目指して、精一杯努めます。引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

加古川市議会 志政加古川 **木谷万里**

(お問合せ先) 〒675-0013 加古川市野口町二屋 TEL 079 (439) 4594

公式サイト (ブログ毎日更新中) <http://kitanimari.com>